

夏休み期間の開講について。

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 学生の皆様、保護者の皆様

学科長の阪井です。

今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延に際しては、感染そのものへ対しても、それによる学習への影響に対しても、大変な不安を抱えられていることと御推察申し上げます。

当学では、前期に関しては5月より遠隔講義で継続を行って参り、皆さんの御協力もあり何とか前期無事終了が視野に入ってきております。

後期は、行動指針のレベル1または2（7月14日と同等の条件）に該当する場合には対面授業と遠隔授業の併用の形式を取る方針となっており、現状ではこの形になる可能性が最も高いと考えています。この場合、学生間の感染予防のため、各教室の受講者や来学者を50%程度に抑制する（キャンパスに来学する学生を半分にすること）事等が大学当局より求められています。

しかし、当学部当学科の実習系の講義においては、遠隔講義に適さないものもあることから、特に対面の講義が必要な科目に関しては、他学部の来学者が少ない後期開始前に対面にて講義を行うこととし調整しております。

期間は8月31日から後期授業開始前の9月18日までを予定しております。（学科によって日程が異なるので注意して下さい。）

対象科目は、身体障害評価学実習、身体障害治療学実習、発達障害治療学実習、発達障害評価学実習、精神障害治療学実習、精神障害評価学実習、日常生活活動学実習Ⅰ、福祉用具支援技術論実習、義肢装具学実習、作業療法学研究Ⅱ（卒業研究 小川ゼミのみ）となります。

これらの予定は、未だ大学当局と調整中のものであり、更に新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっても変更になる可能性があります。可能性の段階でも予め学生さんに準備をしていただくことが望ましいと考え、御報告する次第です。

学年中の休日及び講義日程という異例の事態になり恐縮ですが、新型コロナウイルス蔓延という事態へ対応し、必要な学習を確保するために不可避のものとして御理解頂ければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症の動向は未だ予断を許しませんが、作業療法学科としては、学生の学習機会確保の為に今後も最善をつくす所存です。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

神戸学院大学

総合リハビリテーション学部

作業療法学科 学科長

阪井 一雄

参考

新型コロナウイルス感染拡大に対する神戸学院大学の行動指針（BCP）

<https://www.kobegakuin.ac.jp/files/source/%E2%97%87%E3%80%9020200626%E3%80%91%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F%E6%9F%93%E6%8B%A1%E5%A4%A7%E3%81%AB%E5%AF%BE%E3%81%99%E3%82%8B%E7%A5%9E%E6%88%B8%E5%AD%A6%E9%99%A2%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AE%E8%A1%8C%E5%8B%95%E6%8C%87%E9%87%9D%E5%BC%88BCP%E5%BC%89.pdf>